

浜田市告示第 138 号

浜田市名誉市民条例（平成 17 年浜田市条例第 316 号）第 3 条の規定により、下記の者を市議会の同意を得て浜田市名誉市民に選定したので、同条例第 6 条第 2 項の規定により氏名及び事績の概要を告示します。

令和 7 年 10 月 5 日

浜田市長 久保田 章 市

記

- 1 氏 名 梨田 昌孝
- 2 事績の概要 別紙のとおり



なし だ まさ たか
梨 田 昌 孝 氏

功 績

浜田市出身の元プロ野球選手であり、引退後は、プロ野球球団の監督として、素晴らしい実績を残すとともに、後輩の指導、育成に大きな成果を果たし、日本の野球界に多大な貢献をされた。

浜田高校3年生の時、主将として春夏甲子園に出場、強肩強打の捕手として、全日本高校野球選抜チームに選出され、卒業後、1972年には、近鉄バファローズに入団、正捕手として活躍し、二度のリーグ優勝に貢献された。

現役引退後は、テレビでの野球解説者やコーチを経て、2000年、大阪近鉄バファローズの監督に就任され、島根県出身者として、初のプロ野球監督となられた。その後も、北海道日本ハムファイターズ、東北楽天ゴールデンイーグルスなどで指揮を執り、数度にわたりリーグ優勝を果たされた。

さらに、第3回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）日本代表チームに野手総合コーチとして招聘され、日本を代表する多くの有名選手の指導に当たられた。練習や試合を通じ、代表選手の成長を支え、士気を高め、チームは、大会で準決勝まで進出し、ベスト4の好成績を収められた。

このように、監督、コーチとして、その卓越した指導力や人望、誠実な人柄により、チームとして優秀な実績を果たすとともに、若い

選手の育成においても、大きな実績を残し、プロ野球界の発展に大きな功績を残された。

さらに、プロ野球人として、全国に名を知られる存在となられた後も、ふるさと浜田への愛着を持ち続け、地域貢献に尽力されている。

2005年、新市誕生とともに始まった「梨田昌孝杯 学童少年野球大会」は、本年、第20回を迎え、多くの子どもたちにとって、スポーツを通じて健全な成長を促す機会となっている。同氏は、本大会に参加され、選手に指導、激励の言葉をかけられるなど、子どもたちにとって貴重な経験となるとともに、浜田市におけるスポーツ振興、青少年の健全育成に、本大会が大いに寄与している。

また、2020年、市外在住の出身者や浜田に愛着を持っておられる方々等で組織する「浜田応援団」の結成に当たっては、団長に就任していただくなど、浜田を代表する著名人として、浜田応援団のアピールに貢献いただいている。

以上、同氏は、プロ野球人として、選手・監督時代を通じ、スポーツ界の発展に多大な貢献を果たすとともに、「浜田」の名を全国に知らしめた。ふるさと浜田を愛し、浜田市民に明るい希望を与え、地域貢献に寄与された、その功績は誠に多大である。

略 歴

学 歴

1969年 浜田市立第一中学校卒業
1972年 島根県立浜田高等学校卒業

職 歴

1972年 近鉄バファローズ 入団(ドラフト2位)
1988年 同 現役引退
1989年 プロ野球解説、野球評論家
1993年 近鉄バファローズ 作戦バッテリーコーチ就任
1995年 同 バッテリーコーチ就任
1996年 同 二軍監督就任
1999年 大阪近鉄バファローズ 二軍監督就任
2000年 同 監督就任
2004年 同 監督退任
2005年 プロ野球解説、野球評論家
2008年 北海道日本ハムファイターズ 監督就任
2011年 同 監督退任
2012年 プロ野球解説、野球評論家
2013年 2013 ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)
日本代表 野手総合コーチ就任
2016年 東北楽天ゴールデンイーグルス 監督就任
2018年 同 監督退任
2019年 プロ野球解説、野球評論家

主要成績

選手通算成績：1323 試合 3444 打数 874 安打 113 本塁打 打率.254

- ベストナイン 3回(1979年～1981年)
- ゴールデングラブ賞 4回(1979年～1981年、1983年)
- オールスター出場 7回(1979年～1983年、1985年～1986年)
- リーグ優勝 2回(1979年～1980年)

監督通算成績：805勝776敗

- リーグ優勝 2回(2001年、2009年)

表 彰

2001年 島根県功労者表彰
2001年 浜田市ふるさと栄誉賞(旧浜田市)